

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、ブラジル経済指標の悪化や米利上げ期待を背景に、ドル買いレアル売りが進行。3.49台後半までレアル売りが優勢になるなど、一時3.50乗せを窺う時間帯も見られた。米国で公表された指標は強弱入り混じる内容。米7月民間部門雇用者数(ADP)は18.5万人増と市場予想を下回ったものの、米7月ISM非製造業指数は10年ぶりの水準となる60.3を記録。FRBによる利上げ開始の時期について、「12月利上げ説がマーケットではやや優勢」との見解を有していたが、4日のロックハート・アトランタ連銀総裁の発言(「現時点で9月会合に臨む姿勢としては、景気は準備できており、政策変更に適切なタイミングである。個人的には、利上げを支持しない方がハードルが高く、利上げを見送るとすれば相当景気が悪化する必要がある」)を踏まえると、今週7日に予定されている米7月雇用統計の数字次第では「9月利上げ」説が再浮上する可能性もある。足許では既にそれを織り込む形でドル高が進展しつつあり、レアルはここからさらにレアル安に振れる展開も想定される。

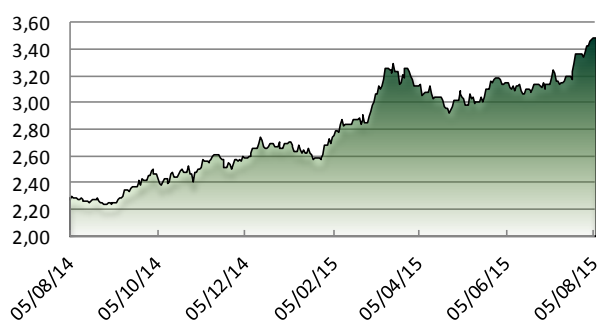
マークイットが公表したブラジル7月サービス業購買担当者景気指数(PMI)は39.1と、6月の39.9を下回って2009年3月に付けた過去最低水準に並んだ。財政緊縮やインフレ高進、失業率上昇などブラジル経済を取り巻く経済環境は悪化の一途を辿っており、当面経済活動は低迷すると見込まれる。

マーケットデータ

Indicator		Unit	8月4日	8月5日	前日比	7月3日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,4710	3,4854	+0,0144	3,1343	+0,3511
	対円	JPY	35,84	35,80	-0,04	39,18	-3,38
	対ユーロ	BRL	3,7778	3,8024	+0,0246	3,4831	+0,3193
円	対ドル	JPY	124,38	124,87	+0,4900	122,79	+2,0800
	対ユーロ	JPY	135,35	136,18	+0,83	136,43	-0,25
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	50.058	50.287	+229	52.519	-2.232
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	302,7	304,2	+1,5	253,9	+50,3
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	13,19	13,34	+0,15	12,52	+0,82
DI Future Oct16 (金利先物)		%	13,89	14,03	+0,14	13,96	+0,07
3 Months US Dollar Libor		%	0,301	0,311	+0,010	0,284	+0,027
CRB Index (国際商品指数)		Index	200,9	199,8	-1,1	224,6	-24,8

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

